

7月 オーキッドだより VOL.33

新型コロナウイルスの緊急事態宣言が令和2年5月21に解除され、施設の面会制限も令和2年6月19日より一部解除しております。ご家族様にはご理解とご協力を頂き感謝申し上げます。まだまだ気を抜けない状態ですが、ご利用者様とご家族様に安心していただけるようスタッフ一同頑張っていきたいと思っております。

お好み焼き美味しそう~



photoalbum こもれび 利用者様の日常をお届けします



お好み焼き ♪



父の日レク!



ワッフル♡



カフェクラブでは、新商品のケーキに絶賛！
カラオケ、美空ひばり、石原裕次郎の曲を沢山
唄って盛り上がりました♡



マメ知識情報！



『氷をバリバリかじる人は病気？』

ジュースなどを飲んだ後、氷をバリバリかじる人がいます。

氷を異常なほどに食べることは、氷食症 (pagophagia) と呼ばれ、異食症の1つと考えられています。氷食症の定義はあいまいで、製氷皿1皿以上食べたり、どうしても氷を食べたいという異常行動としてみられる場合をそう呼ぶそうですが、氷食症は鉄欠乏症貧血の患者さんに比較的高い確率でみられる症状であることが知られています。

では、鉄欠乏性貧血になるとなぜか氷が食べたくなるのでしょうか？

また氷食症は、同じ貧血でも鉄欠乏性貧血にのみみられます。

氷食症が起きる理由については、強い精神的ストレスや強迫観念によるという説や、貧血に伴う口腔内の炎症を抑えようとするため、あるいは氷を噛むことによって反射的に脳血流を増加させているなど、さまざまな説明がなされていますが、いまだ明確な機序はわかっていません。

40年前の非常に古いものですが、興味深い研究があるので紹介します。

貧血にしたネズミに、氷でも水でも好きな方から水分を摂取できるようにします。正常なネズミは約45%の水分を氷から摂取するのに対して、貧血ネズミは96%の水分を氷から摂取しました。両群の水分摂取量には差がないにもかかわらずです。驚くことに、この研究では貧血のネズミは氷をなめるよりも、かじるの方がよくみられたと報告しています。この傾向は、ネズミの貧血が改善するにつれて消えていき、貧血がなくなったネズミは氷には見向きもしなくなったと報告されています。

氷食症が実験動物でもみられる、というのは非常に興味深く、この病態の奥深さを感じます。

最近、鉄欠乏の患者さんはドパミン受容体の数が減少しており、むずむず脚症候群 (restless legssyndrome) を合併することも知られています。

氷を噛むことが癖になっている方は、注意する必要がありそうですね。



7月の予定

3(金).17(金).28(火)

訪問理美容

21(火) カフェクラブ

*随時ホームページのカレンダーにもアップしていきますのでご確認下さい。

皆さん知っておられますか？

今、ネットで話題になってる『笑点』の18歳と81歳の違い？のお題の回答・・・ちょっと笑えるので読んでみて下さい。

1. 道路を暴走するのが18歳 道路を逆走するのが81歳
2. 心がもろいのが18歳 骨がもろいのは81歳
3. 偏差値が気になるのが18歳 血糖値が気になるのが81歳
4. 受験戦争を戦っているのが18歳 アメリカと闘っているのが81歳
5. 恋に溺れるのが18歳 風呂に溺れるのが81歳
6. まだ何も知らないのが18歳 もう何も覚えてないのが81歳
7. 東京オリンピックに出たいというのが18歳 東京オリンピックまで生きていたいというのが81歳
8. 自分捜しの旅をしてるのが18歳 出掛けたまま分からなくなって皆が捜しているのが81歳